

2012年12月6日(木)。

“歯科衛生士がどれだけ社会に貢献できる存在であるか”ということを、
いよいよ世間に知ってもらう日がきました。
こどもの城(東京都渋谷区)にて行なわれた記者発表会には、
全国紙や女性誌など33社の媒体が取材のため参加。
記者、サポート企業のスタッフ、参加メンバーを合わせると
およそ100名が会場を埋め尽くします。

熱気あふれるなか、Goodbye Perioプロジェクトの
活動内容を報告するのは4名の代表メンバーです。
いつもは歯科医院という小さな世界で過ごす歯科衛生士にとって、
大勢の人を前に自分の意志を主張するのはとても勇気のこと。
しかし、「日本全国の歯科衛生士の気持ちを背負っているんだ！」
という想いが彼女たちを奮い立たせます。

Goodbye Perioプロジェクトが発足して1年。
私たち歯科衛生士は、ようやく世の中に自分たちの存在を
アピールできるスタートラインに立ったのです。



歯科衛生士の熱い想いに、
息をのむ記者たち……。

さあ、動き出すのは今です！

記者発表会

今号でご紹介するのは、メディア各社を前に行なった記者発表会の様子です。4名のメンバーが歯科衛生士という職業に、どれだけ熱い想いを持っているか。ご注目ください！



成瀬千絵美さん(東京都)
家族や友人を通して、患者さんの実態を目の当たりにしました

成瀬千絵美さん(東京都)

「プロジェクトへの想い」を話します。

「実は、以前から“社会貢献”できる場を探していました。世の中には、何社もの会社を経営して忙しくしているような方が小児麻痺の撲滅運動などに参加しています。そんな姿を見て、とてもうらやましく思っていました」

緊張しながらも、自分の言葉を噛みしめるようにゆっくり話す郡司さん。その静かな熱意を感じとり、記者たちのメモする手は思わず止まります。

「Goodbye Perioプロジェクトの活動を知ったとき、私にできる“社会貢献”的場はここだと確信しました。歯周病予防というひとつ的方法を通して、歯科衛生士として人の役に立てるわかったのです」

* * *

次にマイクを引き継いだのは、京都から駆けつけた田村幸絵さん。誰よりも多くの会社を経営して忙しくしているような方が小児麻痺の撲滅運動などに参加しています。そんな姿を見て、とてもうらやましく思っていました」

緊張しながらも、自分の言葉を噛みしめるようにゆっくり話す郡司さん。その静かな熱意を感じとり、記者たちのメモする手は思わず止まります。

* * *

田村さんの痛切な想いが伝わり、会場の空気は一気に引き込まれます。

「そんなとき、京都内で開業される内科医の先生が声をかけてくださいました。内科に通う患者さんへ、専門家の視点から歯周病予防の大切さを伝えたい」と依頼されたのです」

院内での様子がスクリーンに映し出されると、鳴り響くシャッターチューン。「お口を通じて全身の健康をサポートする」というプロジェクトの意図が記者たちにもイメージできました。

* * *

続いて登場したのは成瀬千絵美さん。家族や友人、一般の方へ歯周病の反応を正直に口にする成瀬さん。素直



郡司友香さん(栃木県)

私もできる“社会貢献”を見つけたとき、うれしさでいっぱいになつたんです！

ここで発表者は、郡司友香さんにバトンタッチ。この日のために温めてきた



「何で今まで教えてくれなかつたの？」妹の言葉に、目を覚まさされました
田村幸絵さん(京都府)

いや今後の目標などを熱く語りました。まずは、事務局の鈴木茜よりプロジェクト全体の活動内容と今後の展望を報告。プロジェクトが発足された経緯と活動目的について話します。

「今、日本人の96.2%が毎日歯を磨いています。にも関わらず、成人の80%は歯周病。みなさんは、この事実をご存知でしたか？」

突然の問題提起にハッとし、記者たちの興味は引きつけられます。

「実は、私たち今まで“歯周病予防”にurosを積極的にすすめてきました。たでも、罹患率80%という数値を目にしましたとき、このままではいけないと気づいたのです。なぜなら、私たちが正しい知識を伝えることで、国民の健康は今以上に守られるからです！」

そしてスクリーンに映し出されたのは、日本臨床歯周病学会より発表されたデータ。歯周病が狭心症・心筋梗塞・糖尿病などの疾患に影響するという結果を見て、記者たちは目を丸くします。今取り上げられて

いる問題が、自分たちに直接関係していると理解したのです。

「歯周病に罹患している人の内、半数は“歯肉炎”です。デンタルフロスによる正しいケアを行なうことで、健康な状態に戻すことができます。私たち歯科衛生士がもっと国民と関わり、健康な状態へ導くことができる……歯周病になる人はグッと減るでしょう。さらに全身疾患の予防にもなり、急速に増え続けている医療費を大幅に削減できます」

ここでの発表者は、郡司友香さんにバトンタッチ。この日のために温めてきた



児嶋なつみさん(東京都)
私の背中を押してくれる
医院のスタッフに
心から感謝しています！

な気持ちで国民に関わるうとしている姿勢が伝わってきます。

そして最後にマイクを取るのは児嶋なつみさんです。いくら自分たちの気持ちが強くても、こうして活動できるのは周りの協力があつてこそ。児嶋さんがプロジェクトへの参加を決めたとき、真っ先に背中を押してくれたのは勤務先の院長先生でした。

「人々が将来確実に歯を残していくには、セルフケアと同じくらい歯科医院でのメインナンスが必要です。だからこそ、医院のスタッフにも私たちの活動を理解してもらい、一緒に取り組んでもらつことが大切。歯科衛生士を“国家資格を持つプロ”として認め、活動を応援してくれる院長には、心から感謝しています」

今まで何気なく通っていた歯科医院には、知り得ないドラマが詰まっている。そして、普通の女の子に見える歯科衛生士たちがこんなにも熱い気持ちを持って社会の問題に立ち向かおうとしている……。彼女たちの熱い想いが伝わり、記者たちからの盛大な拍手でGoodbye Perioプロジェクトメンバーからの前半の発表は終了しました。

サポート一
歯科医師からの
エール!



代表者のスピーチを聴き、自分たちの役目を改めて振り返るメンバーたち。

記者会見の映像は、[Goodbye Perio](#)
サイトにてご覧いただけます。

記者発表会に参加した メンバー DHの声

会場内の後ろでは、メンバーたちが代表者のスピーチを見守ります。秋永さんは、記者発表会後に感じたことを次のように語ってくれました。



■ 秋永恵さん(大阪府)

代表メンバーの発表を聞いて、Goodbye Perioプロジェクトの主旨内容を改めて理解することができました。そして、予防後進の汚名を返上するために、院内外に関わらず歯周病予防の啓蒙活動を始めるべきだと感じました。

歯周病の患者さんに日々接するなかで、私は主にセルフケアをもつとがんばりましようとアドバイスしています。それは、「歯周病はこわい」「全身疾患の元凶となりうる」という事実を知っているからです。では、そういう「健康」という観点からしっかりと足を据えて患者さんにアドバイスできているかといえば、そうではありません。セルフケアが健康管理の「鏡」のひとつであることを、もっと患者さんに伝える努力が必要だと思うのです。

日本WHO協会では、「健康とは肉体的・精神的・社会的にすべてが満たされた健やかな状態のことを指す」と定義づけています。そういう広く深い概念に基づいた啓発が、私たち歯科衛生士には求められているのだ

メンバーによる発表に続き、このプロジェクトのサポートである田中真喜先生よりエールが送られました。

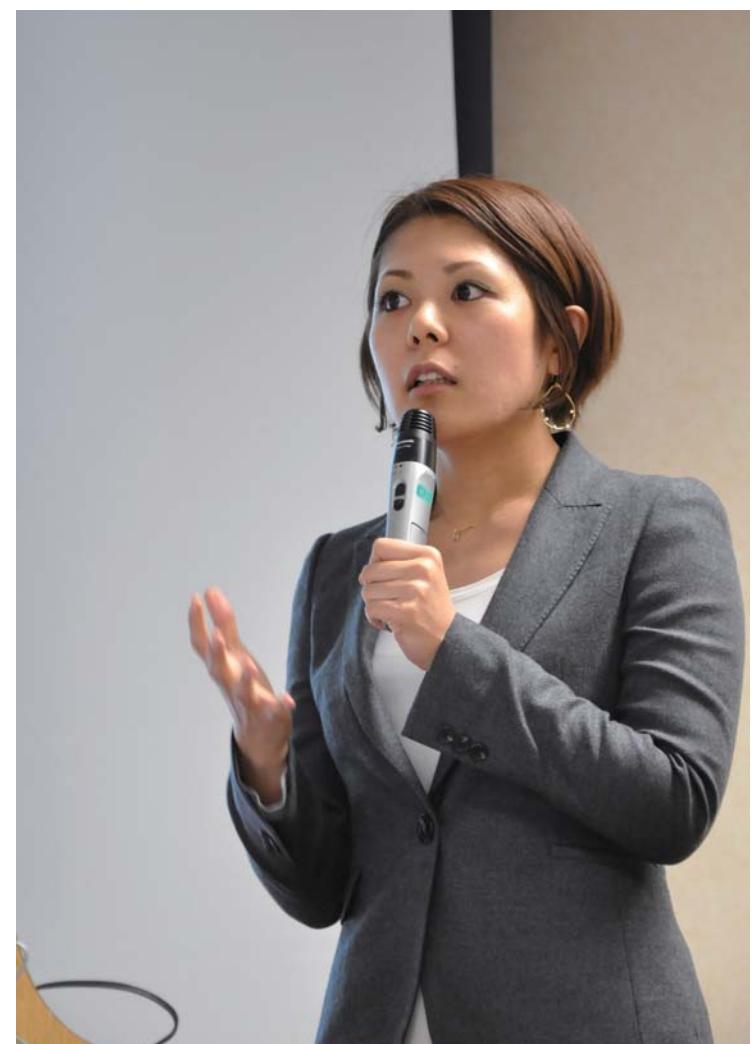
初めてこのGoodbye Perioプロジェクトの話を聞いたとき、正直驚きました。今まで歯科業界において、歯科衛生士が主体となって何かアクションを起こすということがほとんどなかったからです。彼女たちがどういった気持ちを持って、具体的にどういった活動をするのか。純粋に興味をそそられました。そこで、活動を見学させていただいたのが6月の子育てイベント。一般の方にデンタルフロスの使い方を教えるメンバーの表情は、普段歯科医院内に見かける衛生士さんたちのそれとはまったく違いました。ものすごくキラキラ輝いていたんです! 本当に楽しそうに会場内を動き回る姿を見て、この活動はすばらしいという想いが確信に変わっていき

ました。そして私は、歯科医師の立場からこのプロジェクトをサポートしていくないと考えたのです。

歯科医療と聞くと、とかく注目を浴びがちなのは我々歯科医師です。しかし実際に、歯科衛生士を含めた「デンタルスタッフがいなければ最適な医療は成り立ちません。

特に今日話題に上がっている歯周病に関する歯科衛生士が治療の成功・予防の成功のカギを握っています。だからこそこのプロジェクトを通して、日本全国のみなさまにもっと歯科衛生士という職業について知つてもらいたいと思っています。

今の日本は、歯科衛生士のライセンスを持つたうちの約6割が未就業といわれています。認知度が上がれば就業環境はよくなり、再びプロフェッショナルを目指す人も増えるはず。ぜひ、彼女たちの新しい1歩を応援してください。将来に目を向けたとき、国民の幸せを守るために歯科衛生士は必要不可欠な職業ですから!



● 田中真喜先生 ◆ 記者発表会内のスピーチより

キラキラと輝く歯科衛生士の表情に、「応援したい!」という気持ちがわきました



メンバー数
1,550名
(2013年1月7日現在)

記者発表会を機に歯科衛生士への注目度がアップしています。
ぜひあなたもGoodbye Perioメンバーに!

メンバー登録は下記のサイトから
提案用のフロスやツールを無償提供します

<http://perio.tuftclub.jp/>

メンバーの取り組みは、
facebook ファンページでもご紹介しています!
Goodbye Perio で検索を!

田中真喜先生／歯科医師
2003年日本歯科大学卒業後、東京医科歯科大学歯周病学部へ入局。2010年には日本臨床歯周病学会専門医を取得。そして2006年から現在まで、吉野歯科診療所歯周病インプラントセンターにて勤務。